

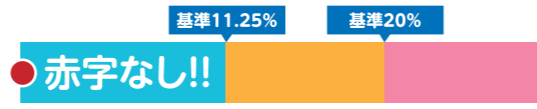
# 令和4年度決算に基づき算定した 財政健全化判断比率

※佐世保市はすべての指標でクリアしています。



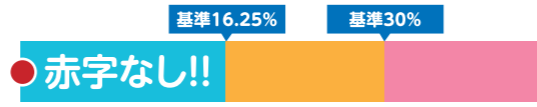
## 実質赤字比率

一般会計などの実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです。



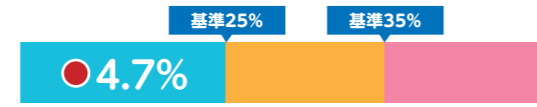
## 連結実質赤字比率

全会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです。



## 実質公債費比率

一般会計などの実質的な借入金の返済額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです。



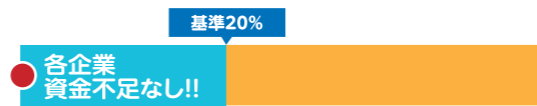
## 将来負担比率

一般会計などが抱える実質的な負債の残額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです。



## 資金不足比率

各公営企業の資金不足額が、事業の規模に対してどれくらいの割合になるかを示すものです。



健全 財政健全化団体 財政再生団体

# これからも健全な財政運営を行います。

## 財政運営の方針

### 「質の高い」財政運営

### 「自立した」財政運営

### 「信頼される」財政運営

財政規律(収支の均衡、将来負担の抑制、適正な受益者負担など)を守りながら、計画的、効率的な財政運営に努め、圏域の活性化を図りつつ、財政の健全性を維持します。

## 今後の財政運営

今後も、施策・事業の選択と、限られた行政資源の最適配分に加え、適正な財政規模を意識しながら、「サービス水準」と「受益者負担」の調整を図るとともに、現下のコロナ禍への対応やポストコロナ時代を見据えた「新たな日常」を構築するための新たな取組など、市民の皆様のご理解・ご協力を賜りながら、持続可能な行政財政運営に取り組んでまいります。

令和4年度決算に基づく現状値	現状値	目標値
実質的な財源調整2基金※1の残高の標準財政規模※2に対する割合	12.1%	10%以上
実質公債費比率※3	4.7%	10%以下
経常収支比率※4	93.0%	90%以下

※1: 正味の財源調整にあてることができる財政調整基金と減債基金の残高のことで、佐世保市の貯金を指すものです。  
 ※2: 地方公共団体の標準的な状態で通常収入されると見込まれる経常的一般財源の規模を示すもの。なお、一般財源とは使いみちを特定されず、どのような経費にも使用することができる財源です。市税、地方譲与税、地方交付税などがこれにあたります。  
 ※3: 地方公共団体の公債費による財政負担の度合いを判断する指標。  
 ※4: 財政構造の弾力性(ゆとり)を判断するための指標。地方税・普通交付税などの、使いみちを制限されない毎年収入される性質の収入(経常的な収入)に対する、人件費・公債費・扶助費など毎年支出される性質の支出(経常的な支出)の割合です。

佐世保市の財政についてもっと知りたい方は、市のホームページにアクセスしてください。また市役所6階 行政資料閲覧コーナーでも各種資料をご覧いただけます。

お問い合わせ先

# 佐世保市 財務部 財政課

ホームページアドレス <http://www.city.sasebo.lg.jp/>

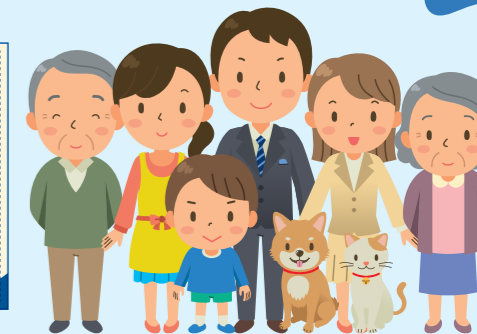
〒857-8585  
 佐世保市八幡町1番10号  
 ☎0956-24-1111(内線2631~2635)

# させぼさんちの家計簿

## 令和4年度決算 (令和4年4月1日~令和5年3月31日)

### 4年度決算のポイント

- 歳入は1,352.2億円(前年度比46.9億円減)
- 歳出は1,299.5億円(同43.4億円減)となり、決算規模は過去4番目の大きさとなりました。
- 実質収支は41.4億円の黒字になりました。



### 主な事業

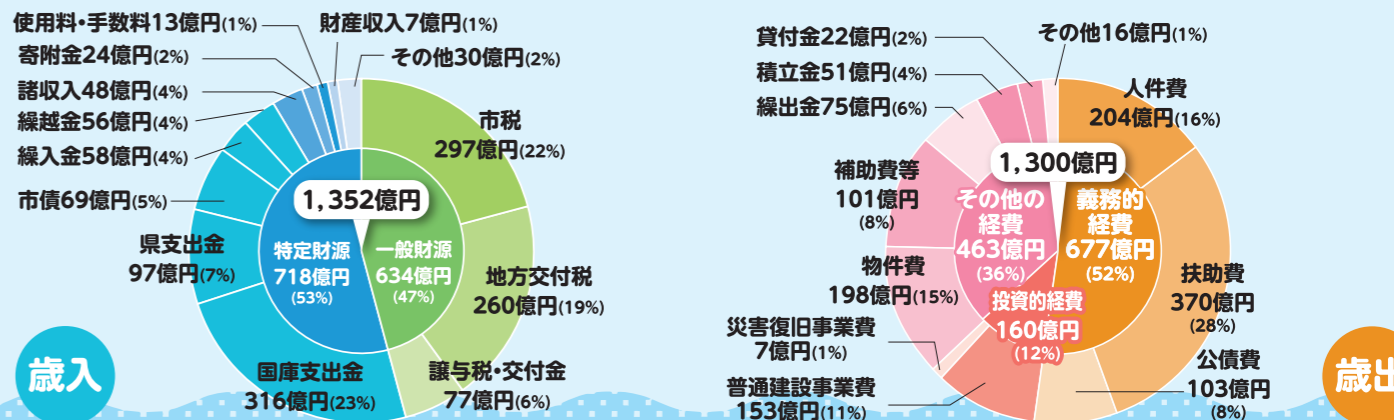
- <新型コロナウイルス感染症対応事業>
- 住民税非課税世帯等に対する給付金 33.2億円
  - ワクチン接種にかかる経費 12.1億円 など
- <通常事業>
- 日野小学校校舎改築・長寿命化事業 12.4億円
  - 学校給食費管理事業 10.1億円 など

### 4年度のトピック

- IR区域認定を見据え、上下水道などの都市インフラ整備やスーパーシティ構想の検討など、本市が取り組むべき施策の推進に努めました。
- 西海国立公園九十九島動植物園「森きらら」移転を含む九十九島観光公園の官民連携による本格的な活用策についてさらに検討を進めました。
- 前畑崎辺道路の早期の完成に向け、防衛補助を確保しながら着実な事業の推進を図りました。

### 4年度を振り返って...

- 中期的な財政見通しのもとでの予見性を持った計画的な財政運営と改革改善に引き続き努めた結果、実質収支は41.4億円の黒字となりました。
- 市債残高は29.8億円減少し、プライマリーバランスの黒字化を達成。  
 実質的な交付税である臨時財政対策債について、将来への負担の軽減を図る観点から発行の抑制を行ったことなどにより、将来を見据えた借入の抑制に努めました。
- 財源調整2基金の残高は標準財政規模の12.1%となり、目標達成。
- 圏域の活性化と健全財政の両立は一定達成。  
 健全化判断比率は「健全」、リーディングプロジェクトや西九州させぼ広域都市圏の事業展開など活力ある地域づくりを進めることができました。



佐世保市財務部

## 令和4年度佐世保市の決算

収入		
(3年度からの増減)		
市税	296億7,726万円	4億3,834万円
地方交付税など	345億1,517万円	△12億8,099万円
諸収入その他	114億3,538万円	9億7,458万円
国庫県費	412億1,984万円	△61億4,720万円
市債	69億3,620万円	△9億2,130万円
繰入金	58億2,531万円	17億8,286万円
繰越金	56億1,225万円	4億6,443万円
<b>収入合計</b>	<b>1,352億2,141万円</b>	<b>△46億8,928万円</b>
<b>内訳</b>	<b>一般財源</b>	<b>633億6,733万円</b>
	<b>特定財源</b>	<b>718億5,408万円</b>
<b>基金残高</b>	<b>211億5,201万円</b>	<b>△6億8,253万円</b>

支出		
(3年度からの増減)		
人件費	174億6,211万円	△2,405万円
扶助費	344億5,039万円	31億7,132万円
物件費・補助費等	175億4,956万円	△27億1,915万円
維持補修費	8億3,498万円	2億819万円
教育費	126億1,652万円	15億2,596万円
新型コロナウイルス対策	88億4,790万円	△71億3,431万円
繰出金	74億1,876万円	△3億2,968万円
公債費	102億8,478万円	△1億4,840万円
普建・災害	125億8,231万円	14億673万円
貸付・投資出資	27億7,646万円	3,528万円
積立金	51億3,078万円	△3億3,578万円
<b>支出合計</b>	<b>1,299億5,455万円</b>	<b>△43億4,389万円</b>
<b>市債残高</b>	<b>953億4,135万円</b>	<b>△29億8,552万円</b>

## させぼさんちの家計簿(1ヶ月あたり) 令和4年4月～令和5年3月の月平均家計

収入		
(3年度からの増減)		
現金収入	374,700円	△6,600円
給料(基本給)	95,100円	4,400円
給料(諸手当)	110,700円	△400円
パート収入	36,700円	4,200円
祖父母からの仕送り	132,200円	△14,800円
ローン(借入金)	22,200円	△2,200円
貯金の取り崩し	18,700円	6,300円
繰越金	18,000円	2,000円
<b>収入合計</b>	<b>433,600円</b>	<b>△500円</b>
<b>内訳</b>	<b>自由に使えるお金</b>	<b>203,200円</b>
	<b>使い道が決まっているお金</b>	<b>230,400円</b>
<b>貯金残高</b>	<b>782,000円</b>	<b>2,000円</b>

支出		
(3年度からの増減)		
生活費計	265,800円	15,300円
食費	56,000円	1,800円
医療費	110,500円	13,400円
光熱水費など雑費	56,200円	△6,700円
車などの修理代	2,700円	800円
教育費	40,400円	6,000円
新型コロナウイルス対策	28,400円	△21,200円
子どもへの仕送り	23,800円	△200円
ローンの返済	33,000円	600円
家や庭の建築・改修	40,400円	5,700円
貸付など	8,900円	400円
貯金	16,400円	△600円
<b>支出合計</b>	<b>416,700円</b>	<b>0円</b>
<b>ローン残高</b>	<b>3,668,000円</b>	<b>7,000円</b>

## させぼさんち



**お母さん**

やりくり上手でパートもこなす頑張り屋さん



**おとうと**

小学校に通っている



**わたし**

大学生で寮生活をしている



**お父さん**

平日は仕事で忙しい。休みの日は車を洗ったりする



**おばあちゃん**

健康のことを考えて散歩をしている



**おじいちゃん**

家や庭の改修など大きな出費の一部を援助してくれる

コロナウイルス対策に約2.8万円かかったよ。これは、おじいちゃんおばあちゃん(国県)からの援助や、貯金を取り崩したりして支払ったよ。



生活に必要な食費、医療費、ローンの返済(義務的経費)が、全体の約5割もあるね。特に、医療費が家計を圧迫してるね。



これからも医療費は増えそうだから、食費や光熱水費など、できるところから切りつめないといけないね!



ローンの返済がある中で、私への仕送りもあるから大変だね。



ローン残高が少し増えてしまったね。



給料(市税)などの自由に使えるお金(一般財源)が4,000円増えて、おじいちゃんおばあちゃん(国県)からの援助などの使いみちが決まっているお金(特定財源)は4,500円減ったよ。自由に使えるお金は増えたけど、使いみちが決まっているお金の割合が大きいから、今後も家計のやりくりが大変になるね。



家の改修計画(公共施設等総合管理計画)をつくったから、計画的に、修理をしていこう。



家(施設)や庭(道路)をつくる時は、ローン(借入金)もしてるよ。これは、何十年も使う施設の建設費用を、後の世代の人たちにも負担してもらおうという意味もあるよ。

